

平成24年8月八戸市教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 平成24年8月31日(金) 午後1時30分
- 2 場 所 市庁本館3階 議会第1委員会室
- 3 委員氏名
- | | |
|----------|-------|
| 委員長 | 平山 幹雄 |
| 委員長職務代行者 | 岡本 潤子 |
| 委員 | 小柴 一弘 |
| 委員 | 武輪 節子 |
| 教育長 | 松山 隆豊 |
- 4 職員氏名
- | | |
|--------------|------------|
| 教育部長 | 芝 俊光 |
| 是川縄文館長 | 小林 和彦 (欠席) |
| 教育部次長兼教育総務課長 | 佐藤 浩志 |
| 教育部次長 | 四戸 康雄 |
| 図書館長 | 津取場 重行 |
| 博物館副館長 | 澤田 多嘉男 |
| 学校教育課長 | 齋藤 信哉 |
| 北地区給食センター所長 | 中里 親弘 |
| 東地区給食センター所長 | 板橋 稔 |
| 南郷地区給食センター所長 | 小林 啓作 |
| 教育指導課長 | 嶋脇 郁夫 |
| 社会教育課長 | 船田 泰寛 |
| 是川縄文館副館長 | 前田 美智子 |
| 総合教育センター所長 | 井上 貫之 |
| 市史編纂室長 | 藤田 俊雄 |
| 教育総務課副参事 | 小笠原 光則 |

(事務局員) 教育総務課主査 佐藤 正樹

平山委員長	<p>ただいまから、平成 24 年 8 月の教育委員会定例会を開会します。</p> <p>本日の議事録署名は小柴委員を指定します。</p> <p>それでは教育長から、主な会議・行事等について説明をお願いします。</p>
松山教育長	(資料に基づき説明)
平山委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
平山委員長	<p>これより議事に入ります。</p> <p>本日提出されております議案を審議いたします。</p> <p>それでは、議案第 32 号「学校給食費について」事務局から説明願います。</p>
齋藤学校教育課長	(議案第 32 号「学校給食費について」に基づき説明)
平山委員長	<p>ただいま、議案について説明がありましたが、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
平山委員長	<p>それでは、議案第 32 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
平山委員長	ご異議がありませんので、議案第 32 号を原案のとおり決定いたします。
平山委員長	<p>以上で、議案の審議は終わりました。</p> <p>次に報告事項にまいります。</p> <p>はじめに「八戸市教育振興基本計画について」報告を受けることといたします。</p>
佐藤次長兼 教育総務課長	(資料「八戸市教育振興基本計画について」に基づき説明)
平山委員長	ただいまの報告につきまして、ご質問などありましたらお願いします。

平山委員長	これは今いただいた資料もありますので、これを読んで後ほどでもいいですか。
佐藤次長兼 教育総務課長	はい。
平山委員長	それでは次に移ります。「新学校給食センター建設用地について」報告を受けることとします。
齋藤学校教育課長	(資料「新学校給食センター建設用地について」に基づき説明)
平山委員長	ただいまの報告につきまして、ご質問などありましたらお願いします。
平山委員長	これが完成しますと、10,000～12,000食とありますが、給食センターは八戸市にいくつになるんですか。
齋藤学校教育課長	市の学校給食基本計画では、将来的には給食センターを今の4施設から2つの施設にするという計画でおります。よって、新しいセンターと、今現在稼働している北と東が新しくセンターを作って、その2つで運営をしていくというような予定です。南郷区については、新センターが建設されたときには、そちらを閉鎖してこちらのほうで賄うというような予定です。
平山委員長	そうしますとこれが稼働するときは、その時点ではいくつになるんですか。
齋藤学校教育課長	その時点では3つです。
平山委員長	はい、分かりました。
平山委員長	今現在ドライシステムというのは、八戸の場合はどこか採用しているところがありますか。
齋藤学校教育課長	いえ、ありません。すべてウエットでやっております。
板橋東地区給食センター所長	東給食センターは施設はウエットなんですけれども、運用はドライで運用しています。

小林南郷地区給食センター所長	南郷給食センターもウエットの施設ですけれども、ドライ運用をしています。
平山委員長	なんか前にお邪魔したときにそうでしたから。一応ウエットになっているんですか。
小林南郷地区給食センター所長	施設はウエットですが、運用はドライでやっています。
平山委員長	分かりました。
平山委員長	では次にまいります。次に、「国宝・重要文化財の資料貸出予定について」報告を受けることとします。
前田是川縄文館副館長	(資料「国宝・重要文化財の資料貸出予定について」に基づき説明)
平山委員長	ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。 (質疑なし)
平山委員長	では次にまいります。次に、「『青少年のための科学の祭典 2012』八戸大会の実施について」報告を受けることとします。
井上総合教育センター所長	(資料「『青少年のための科学の祭典 2012』八戸大会の実施について」に基づき説明)
平山委員長	ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いします。
平山委員長	入館者の中で、中学生はどれくらいの割合を占めますか。
井上総合教育センター所長	小学生、中学生、幼児と分けて統計はとっていないんですけれども、500~1,000の間くらいかなと思います。主に小学生が非常に多い。それとあと就学前の子どもたち、年長さんくらいの子もたちがお父さんお母さんと一緒に来るというような形が多いです。ボランティアの187名のうち、3分の2くらいが中学生ですのでその子どもたち、それから学校のほうで公募して下さって来る子どもたちと

平山委員長	<p>というようなことで、そのあたりかなと思っております。ですから1日当たりになればその半分ですので250くらいかなと思います。</p> <p>私も参加してみて中学生が割と多くないという感じがしたものですから。中学生は学校を通してということになるんでしょうけど、学校を通してアピールする作戦というのはどこで担当していることですか。</p>
井上総合教育センター所長	<p>まず校長会等で、こういった催し物があるということでお話しております。それから理科の小学校の研究会、中学校の研究会の席で指導主事のほうから各理科の先生方にいい機会なのということで。例えば中学校の場合、行って感じたことを感想文にして出さないとかということ、自由研究の中の選択課題の一つとして取り上げて実施という方法を取ってくださっている学校もございます。</p> <p>ただ、今年の日程がお祭りの後夜祭とぶつかっていたことと、それから新人戦の夏季大会が土曜日、日曜日に入ってきてぶつかっていたというところで、ちょっと日程的に中学生にとっては参加しにくいところもあったというのが、中学校が少なかった原因の一つかと思えます。</p>
平山委員長	はい、分かりました。
平山委員長	<p>では次に移ります。</p> <p>この他、事務局から報告事項はありますか。</p>
平山委員長	<p>事務局からは以上のようなようです。</p> <p>それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様から何かございますか。</p>
平山委員長	では私から 2、3 お願いします。中学校の体育祭などに参加しているんですけども、陸上競技の走り方、手の振り方というのは、小学校のどの時点で指導なさっているものか、特にしていないものか、その辺をお聞きしたいんですけども。
齋藤学校教育課長	陸上競技をずっとやってきましたので。以前は、手の基本的な振り方云々というのは、小学校の4学年くらいから基本的なことは教えていたんですが、今は基本的な手の振り方がどうであるかという部分については、逆に言うとその人その人に合わせたフォームがあるということで、固定をするという考え方からその人に合った手の振り方へと。ただし、やはり基本的な部分については、前後に振るといふ動きと肩に力が入らないようにというような部分については、小学校の4年生あたりから指導しているのではないかなと思います。あとは中学校に来てか

<p>平山委員長</p>	<p>らは、手の振り方云々という基本的な部分についてはほとんど指導していなくて、本当に一人一人に任せるといような形で指導しているところです。</p> <p>陸上競技部に入っている方々はやっているんだと思いますが、軒並み横に相手にぶつかるくらいの振り方でして、どこかでやっているだろうになあと思ったものですからお尋ねしました。分かりました。</p> <p>次に防災教育についてお尋ねします。市川中学校区、特に市川中、多賀小ですね、これまでどういう支援をなさったのか教えてください。</p>
<p>南館教育指導課 指導主事</p>	<p>今年新しく防災教育支援事業というのを立ち上げておりまして、まず市川中学校区で、ジョイントスクールという形で6月下旬に工業大学の教授を呼んで勉強会をやっております。それから7月の中旬に多賀小学校の申し出で、全校児童130名に、青森県NPO法人の防災士会の八戸支部長さんと呼んで防災教室を上学年、下学年の2回に分けて行っております。</p>
<p>平山委員長</p>	<p>市教委としては何かなさっていますか。</p>
<p>南館教育指導課 指導主事</p>	<p>市教委としては、この地区だけではありませんが、気象庁から「津波から逃げる」というDVDがきておりまして、それを是非活用するよというこことで、各生徒指導部会とか訪問時や校長会等でお願いをしております。</p>
<p>嶋脇教育指導課長</p>	<p>今の事業自体が市教委の事業・・・</p>
<p>南館教育指導課 指導主事</p>	<p>そうですね、防災教育支援事業自体が市教委の主催事業となっております。</p>
<p>平山委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それから次に秋田県の例の阿部昇先生の講演等から、委員会としては何を学んで学校に何を指導していくのかお尋ねしたいんです。</p>
<p>井上総合教育センター 一所長</p>	<p>まず秋田県の取組について、秋田大学の先生のほうから秋田県で作っている県の資料について2年分いただきましたので、センターのGovattのほうに登録いたしまして、いつでもダウンロードできる形にしております。その結果現在83のアクセスがありましたので、それだけの先生がそれを参考にして取り組んでいるというふうなところ。それから、今センターのほうで今年度の講座の前期分の見直しというふうな形で、良かったところ、来年度への課題というところでまとめています。今年度の成果を基にしながら、来年度の講座をこれからどう組んで</p>

	<p>いくか。そして先日から二学期の教育指導課、学校教育課、教育センターの学校訪問が始まっておりますので、各訪問の中で校内研修等を支援しながら、秋田県と同様青森県の場合も校内研修がしっかり行われておりますので、そういう中で確かな学力、わかったできたが実感できる授業がどのようになされていくかというのを確認しながら支援して参りたいところでございます。</p>
<p>平山委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。私もプリントをいただいて見ていますと、特に教育指導課に関わる事業に素晴らしいのがあるなと読みまして、教育指導課としてはあれを参考に何か考えていることはありますか。</p>
<p>嶋脇教育指導課長</p>	<p>秋田のほうの成果が上がっているという理由がいくつかあると思っておりますが、一つはまず少人数の体制ができているということです。二つ目は大学関係機関等との連携があるということ。それからもう一つは、家庭学習、家庭における学習の意欲を高めるということ等があります。</p> <p>その中でいわゆる学習意欲を高める、家庭学習等について言えば、ジョイントスクールであるとか地域密着型等で、どちらかというジョイントスクールのほうが多いんですけども、その学区において小学校から中学校にかけてどのようなことを共通して家庭での取組をすればいいのかというふうなあたり、地区によっては学習ノート等を作成して小学校から中学校にかけて進むというふうなことをしております。そのようなことを含めながら、学校訪問等ではジョイントスクール、地域密着型等において、学力の向上につながるようなことについて推進するようにとお願いをしているところであります。</p> <p>少人数等の体制につきましては、これは当課で考えるという問題でもありませんのでなかなかうまくいかないところもありますし、それから大学等の関係機関ということについても、なかなかこれも当課でという問題ではありませんけれども、そのようなことを各学校のほうに指導しています。</p>
<p>平山委員長</p>	<p>5月11日にお出でになって講演なさっておりますが、その資料は教育指導課では検討しましたか。</p>
<p>嶋脇教育指導課長</p>	<p>特に課で検討ということはしておりません。</p>
<p>平山委員長</p>	<p>私もこれを読んでみて、授業の見直しにもこれを活用したらいいなと思って聞いているんですけども、例えば理科教育や算数教育にずばり入っているのもたくさんあるんですね。うちのほうはジョイントスクールといって、その中学校区に中身はお任せするという対応をしているので、だいぶ違うんですね。ですから素晴らしい資料ですから、少なくとも指導課では指導主事をたくさん抱えており</p>

	<p>ますので見直しして、あるいは教育センターと連携して、何を八戸は学べるか、それを早急に検討して次の年度からでも取り入れたほうがいいんじゃないかなと、私読めばそう思いましたのでお尋ねしてみました。どうぞ、特に良いですから検討なさることをお勧めします。</p> <p>もう一点、前回もお尋ねしましたが、ジョイントスクールとか地域密着型教育の検証はなさっていらっしゃるかどうか、これは次長さんに聞いたほうがいいでしょうか。</p>
四戸次長	<p>検証ということについては、まだ特別手をつけておりません。</p>
平山委員長	<p>度々話題にしておりますけれども、学校等々には一生懸命、評価や検証を求めていますので、我が教育委員会も率先してやられて、何がいいのか何が修正が必要なのかを明らかにして、次の計画を作るようにしていただければいいなと思っております。</p>
松山教育長	<p>今の件につきまして、四戸次長は検証についてはまだと遠慮してお話しましたがけれども、毎年報告会等を開きながら課の中で検討を進めているところでございます。ジョイントスクールについても、今委員長さんから学校にお任せというお話もありましたけれども、学校の主体性を引き出すということについてはその通りでございますけれども、好きなようにやりなさいということではなくて、学校訪問その他を通じて、それを通してどこを目指すかということについては機会あるごとにやっているところでございます。</p>
平山委員長	<p>これは後ほど思っていました、最近、小学校、中学校の校長先生方との会合がありまして、そこでの内容を聞いて、ジョイントスクールに関しては、それこそ本丸に突入という地区と依然と外堀を埋めようという地区が大きく差がついているんですね。それで今ああいう言い方をなさっておりますので、どうぞ教育委員会としても八戸市の課題を捉えて、リーダーシップ、主体性を強力に発揮して欲しいなという願いでこれを話題にしました。</p>
平山委員長	<p>他にございますか。</p>
岡本委員	<p>今委員長からもお話がありましたように、委員4名で小学校の校長会と中学校の校長会と夏休み中にそれぞれお話をさせていただきました、今年は小学校も準備を念入りにしてきてくださいます、資料を基にいろいろ課題点をお話いただきました。私自身も、特に中学校は学校経営で一番力を入れていることと、苦心していることという2つの点がはっきりと見えてきて、先ほど教育振興基本</p>

	<p>計画については私何もお話しなかったんですけども、これらを基に基本的な考え方と、他県、日本全国でどういう基本計画ができていっているんだろうというのいろいろインターネットで見せていただいていますけれども、様々な作り方があって、八戸市はどうなんだろうというところから、もう少し考える必要があるなというふうに自分自身でも感じ、課題を持って、この計画は大事であるなというふうに思っております。また、委員の勉強会でもこれを叩き台にしてより良いものにとということと、やはり市民の皆様にも分かりやすいものができればいいなど。非常に市民が、また国民が教育に向けての視線が強いということは、報道等でもいろんな問題が上がってくる度にその視線が強いということは自分自身も感じていますし、そういうことが市民の皆様にも八戸市の教育はこういうふうにするんだということが分かりやすくできればいいなと思って、この後も勉強会をいたしますけれども、また皆さんの意見を見せていただきながら良いようにできればいいなと思っております。感想をお話させていただきました。</p>
平山委員長	<p>今岡本委員さんから出ましたが、私も全部ではありませんがこんな資料なんです。あるところの教育プランを参考にしてね。これを勉強しておりまして、何か八戸市で使えるところがないかなと思って今読んでおります。分厚い資料になりますけれどもやっていました。私たちも勉強しなければなりませんのでね。</p>
平山委員長	<p>あとはございますか。</p>
小柴委員	<p>要望事項一つなんですけど、暑い日が続いています。各学校でそれぞれ注意しているとは思いますが、教育委員会としてもやはり目配りをしておいていただきたいなと思います。</p>
平山委員長	<p>あとはございますか。</p>
武輪委員	<p>前回、いじめ、不登校についてのアンケートということで、国から何かきて、これから八戸市としてアンケートを取るといようなものは今現在出ていますでしょうか。</p>
嶋脇教育指導課長	<p>国のほうからきて各学校のほうに配布しております。詳しくは担当のほうから。</p>
千葉教育指導課 指導主事	<p>今ございました文科省からのアンケート調査につきましては、学校にすでに配布しておりまして、回収も済ませ、これから教育事務所のほうに提出するという運びとなっております。追って文科省のほうからいろいろあるものと思われま</p>

<p>武輪委員</p>	<p>す。</p> <p>そのアンケートというのは児童、生徒から個々に取るものではなく、学校に対するアンケートということですか。</p>
<p>千葉教育指導課 指導主事</p>	<p>そうでございます。アンケートの内容につきましては、各学校でいじめに対する取組をもう一度チェックしてくださいと、学校としての取組の質問と、それから教育委員会としての取組、その大きく2つの内容のアンケートになっています。</p>
<p>平山委員長</p>	<p>皆さんもご存知のように教育委員会法によりますと、事務局の皆さんだけが苦労するのではなくて、我々教育委員も一生懸命勉強してというようになっていきますので、そういう意味で勉強会などを行っている訳であります。そういう意味でいろいろお話をしていました。</p> <p>それでは、あとはございませんか。</p> <p>それでは、これもちまして平成 24 年 8 月教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(午後 2 時 23 分終了)</p>